

「理論も大衆をつかめば物質的な力になる。それが人をつかむのはラジカルになるときである。
ラジカルであるとは物事を根本からつかむことである。」(カール・マルクス「ヘーゲル法哲学批判序説」)

科学的社会主義の立場で精確・厳密に学ぶ

『資本論』

講座

第1巻
5月6日(水・振休)
開講
会場：エデュカス東京

教室・ZOOM同時開催 後日YouTube視聴可

現代社会のなぜ？
それを解く鍵は…ここにある！

はたらく者の運命、
“貧困・失業・道徳的墮落”は、なぜ起こる？

AIはあなたの敵、味方？

分断、生きづらさが生まれるのはなぜ？

第1巻講座

毎月1回 第1日曜 午後1時～5時〈全13回〉

受講料：30,000円

20代～30代10,000円、高校生、大学生、大学院生 無料

会場：エデュカス東京 または 東京労働会館 [裏面に地図]

ガイダンス

2026年4月5日(日) 午後1時～5時

会場：エデュカス東京5階会議室 [裏面に地図]

教室受講資料代500円 zoom受講、第1巻講座に参加の方は無料

[演題]

新帝国主義戦争の“正義/不正義”のそろばん勘定
—これも「ケア労働」？ おおもと「搾取」をただす—



講師 宮川 彰 首都大学東京 名誉教授・
各地の『資本論』講座講師担当

【講師メッセージ】 超大国の仕掛けた新植民地主義侵略戦争は“割り”に合うのか合わないのか？ 市民視点では“正義/不正義” 評価のラチあかず、拗りどころ基準には、経済的物的利害に根ざす階級的観点を呼び覚ますことがもとめられます。第1巻テーマ“価値”とは“搾取”とはなにか？ “生産的労働/サービス〔ケア労働〕”とはなにか？ で鍛え直します。『資本論』の目で、階級的観点の“確かめ”を試してみましよう。ごいっしょに問題意識の醸成をはかります。



万国の
労働者、
団結せよ！

全て初めは
難しい。
でも、
楽しいよ！

主催・問い合わせ

『資本論』講座東京協議会 第1巻運営委員会

tel. 090-8815-8157 (峯岸)

HP: <https://sihonron-tokyo.net>

Mail: shihonrontk2@gmail.com

